

北海道ブロック活動報告

北海道ブロック理事 川井 明彦（函館赤十字病院）

平成 22 年度 技師長・課長（職務代行者）会議

開催日時：平成 22 年 4 月 24 日（土）
開催場所：北海道放射線技師会研修センター
参加施設：旭川、北見、釧路、伊達、浦河
栗山、小清水、清水、置戸、函館
議事

- 1) 第 20 回総会までの事務局中間報告
- 2) 第 20 回総会までの会計中間報告
- 3) 第 20 回総会並びに研修会について
- 4) 業務検討会
 - ・各施設の業務量・内容変化について
 - ・診療報酬改定への対応状況
 - ・その他
- 5) 平成 21 年度 全国理事会報告
- 6) その他

◎第 20 回北海道地区会総会並びに研修会

開催日時：平成 22 年 10 月 2、3 日（土、日）
開催場所：北海道放射線技師会研修センター
第 20 回北海道地区会総会並びに研修会を 10 月 2（土）・3（日）日の両日にわたり、道内全 10 施設 18 名の参加のもとに北海道放射線技師会研修センターにおいて開催しました。
初日の技術情報交流は施設規模の違いを乗り越えて、参加全施設において興味を持てる題材を取り上げて互いに「教え合おう」というものです。今回の「医療安全への取り組み」においても日頃の研鑽から生み出された文書が紹介され、会場からは「ナルホド」、「それいいネ」等々の声が揚がっていました。会員研究発表は 9 題で、いずれも臨床に即したとても興味深い演題であり活発な討議がなされていました。
2 日目は最近何かと元気な「放射線治療」について会員によるレクチャーをおこないました。

道内 10 施設のなかで放射線治療を行っているのは北見 1 施設のみで、他施設においても知っておくべき基本的事項についてのお話がありました。特別講演は『CT 技術はまだまだ進歩する』と題して GE ヘルスケアジャパンからお話がありました。CT アプリケーションの最新情報を提供していただき、皆真剣に聞き入っていました。

プログラム、参加者は以下の通りです。

第 1 日目 平成 22 年 10 月 2 日（土曜日）

13:00～14:00

○技術情報交流

『医療安全への取り組み 一いまどきの問診票・承諾書・チェックリストを議論する一』

座長 旭川赤十字病院 東堂 剛三
北見赤十字病院 中島 勲

- 1, 「Ba 検査の問診票と検査後の注意事項」
函館 川井 明彦
- 2, 「大腸 X 線検査の前処置の説明」
清水 橋本 悟朋志
- 3, 「造影超音波検査説明書・同意書の紹介」
旭川 藤城 伸一
- 4, 「超音波検査承諾書」
小清水 長島 正直
- 5, 「当院における MR チェックリストの運用」
北見 橋本 歩
- 6, 「当院の MRI 検査チェックリスト」
釧路 小林 央
- 7, 「当院の造影 CT, MRI 兼用問診票」
伊達 穴澤 英樹
- 8, 「MR と CT の造影兼用問診票について」
浦河 石川 辰美
- 9, 「CT 造影検査時の問診・同意書について」
栗山 片岸 賢

10, 「 当院における CT 問診票について 」

置戸 藤嶺 存宏

14:00~16:30

○会員研究発表 第1部

座長 伊達赤十字病院 穴澤 英樹

(1) 「機器管理への取り」

栗山赤十字病院 片岸 賢

(2) 「当院における FPD-TV 装置の日立社製 CUREVISTA と東芝社製 ZEXIRA 装置の使用経験について」

旭川赤十字病院 福士 靖規

(3) 「顎関節 MRI におけるシーケンスの検討」

旭川赤十字病院 棒手 康弘

(4) 「患者さんに喜ばれる補助具をめざして」

置戸赤十字病院 藤嶺 存宏

(5) 「CT 装置の上肢撮影補助装置 (具)」

小清水赤十字病院 長島 正直

○会員研究発表 第2部

座長 旭川赤十字病院 藤城 伸一

(6) 「PEG 交換後の 3D-CT について」

浦河赤十字病院 石川 辰美

(7) 「Fitz-Hugh-Curtis Syndrome を時間外に経験して」

浦河赤十字病院 石川 辰美

(8) 「平成 21 年度 女性特有のがん検診推進事業乳がん検診の結果について」

北見赤十字病院 中島 勲

(9) 「当院での脳ドック一年の現状分析」

伊達赤十字病院 山内 修司

16:40~17:30 第20回総会・反省会

19:00 情報交換会

第2日目 平成22年10月3日(日曜日)

09:30~12:00

○ワンポイントレクチャー

座長 函館赤十字病院 川井 明彦

『当院で行われている放射線治療』

第1部 CBCT の構造及びデータ解析

第2部 CBCT の治療への応用

北見赤十字病院 中井 圭介

第3部 放射線治療の診療報酬について

北見赤十字病院 干川 隆幸

○特別講演

座長 北見赤十字病院 相澤 幹也

『CT技術はまだまだ進歩する

ーマルチスライスCTの次はー』

講師 GE ヘルスケアジャパン株式会

社 CT セールス&マーケティング部

仲野 孝一

12:00

解散

○第20回総会

1. 開会の辞

2. 会長挨拶

3. 議長選出

4. 議事

(1)第20回総会までの事業報告

(2)第20回総会までの会計報告

(3)第20回総会までの会計監査報告

(4)第21回総会に向けての事業計画案

(5)第21回総会に向けての会計計画案

(6)その他

5. 議長退席

6. 閉会の辞

参加者

・北見赤十字病院

相澤 幹也 干川 隆幸 中島 勲

中井 圭介 橋本 歩

・旭川赤十字病院

東堂 剛三 藤城 伸一 棒手 康弘

福士 靖規

・伊達赤十字病院

山内 修司 穴澤 英樹

・釧路赤十字病院

小林 央

・浦河赤十字病院

石川 辰美

・栗山赤十字病院

片岸 賢

・清水赤十字病院

橋本 悟朋志

・小清水赤十字病院

長島 正直

・置戸赤十字病院

藤嶺 存宏

・函館赤十字病院

川井 明彦



第23回日本赤十字放射線技師会東部ブロック研修会開催報告

大会長 小川赤十字病院 小川 清
実行委員長 小川赤十字病院 田中 達也

平成22年11月27日(土)から28日(日)にかけて、埼玉県熊谷市の森林公園ホテルヘリテイジリゾートにおいて、第23回日本赤十字放射線技師会東部ブロック研修会を開催した。交流を深めることを最大の目的として「もっと、もっとクロス!」というスローガンのもと、17施設59名の参加者が研修を行った。大会長による『日本赤十字における診療放射線技師』、益井会長による『ユビキタス時代の日本赤十字放射線技師会』の講演では、それぞれの立場から見た今後の日本赤十字における放射線技師の在り方について、興味深いスライドを交えて、私たちが成し遂げなければならないことについて講演が行われた。パネルディスカッションでは、旬な話題である「チーム医療」について、救急医療・高齢者医療・がん医療を中心に討論が行われ、埼玉3施設の若手3名のパネリストより明日から実施することとして「朝礼の実施」、「部内外カンファレンスの開催」、「患者さんへ名乗ろう」の3点と、上司にはそのための環境づくりへの協力が提案された。引き続き行われた特別講演ではチーム医療の推進に関わっている医療ジャーナリストの福原麻希さんをお迎えして、「チーム医療について」の広い視野を通じた講演が行われた。1日目研修会終了後の業務連絡会議では、新しい日本赤十字放射線技師会東部ブロックの在り方について、多くの斬新な意見が施設に偏ることなく討論された。情報交換会においても各施設入り混じり、交流が深められた。また、自由参加の情報交換会の二次会においても多数の参加者が深夜まで屈託のない意見交換を行っていた。2日目の一般研究発表では、若手技師たちを中心に、日頃見落としがちな内容から最新技術・職場管理にいたるまでの9演題が報告され、質疑応答の時間が不足するほど活発な討論が行われた。教育講演では、全国規模で医療被ばく相談に取り組んでいる工藤安幸氏により、患者さんの視線・知識に沿った医療被ばく相談への対応方法についての講演が行われた。2日間を通して、若手から先輩への提案、先輩から後輩へのアドバイスの発言が多く見られ、真剣ながらも笑いの絶えない研修会であった。事務局の不手際により参加者の皆様にご迷惑をおかけすることもあったが、実行委員スタッフが一致団結し自らが進んで業務を探す場面も多く見受けられ、実行委員自身が楽しい2日間を送ることが出来たことは今後の通常業務にも反映されることが予想され、当院にとっても大きな成果であった。

日時 : 平成22年11月27日(土)、28日(日)
会場 : 森林公園ホテルヘリテイジリゾート(埼玉県熊谷市)
開催事務局 : 小川赤十字病院
参加人数 : 17施設59名
参加者名簿 : 順不同

施設名	氏名	役職
深谷赤十字病院	清水 文孝	放射線技師長
	中山 進	放射線第一課長
	飯島 秀信	核医学検査係長
	齋藤 幸夫	診療放射線技師
	富田 欣治	診療放射線技師

	井上 孝行	放射線一般撮影係長
	青木 薫子	診療放射線治療係長
	清水 邦昭	診療放射線技師
	小林 茂幸	診療放射線技師
	持田 雅明	診療放射線技師
	笠井 久幸	診療放射線技師
	成田 麻美	診療放射線技師
さいたま赤十字病院	黒田 順平	放射線技師長
	尾形 智幸	放射線課長
	小池 克美	放射線係長
	高松 聡	放射線係長
	石脇 剛弘	診療放射線技師
	塚田 将司	診療放射線技師
日本赤十字放射線技師会会長	益井 謙	日本赤十字放射線技師会会長
武蔵野赤十字病院	荒井 一正	放射線係長
	山崎 幸恵	診療放射線技師
	高山 慎吾	診療放射線技師
長岡赤十字病院	林 智	放射線技師長
	西潟 貴之	診療放射線技師
	新保 綾乃	診療放射線技師
前橋赤十字病院	鈴木 繁	放射線技師長
	久保田 俊夫	放射線課長
	岡庭 繁樹	放射線課長
古河赤十字病院	青木 貢	診療放射線技師
山梨赤十字病院	秋元 康男	放射線係長
横浜市立みなと赤十字病院	平井 信之	診療放射線技師
	小峰 里香	診療放射線技師
水戸赤十字病院	菊池 正見	診療放射線技師
	井原 佐知子	診療放射線技師
原町赤十字病院	奥泉 敬二	放射線第二係長
成田赤十字病院	前川 栄寿	放射線課長
	川俣 剛樹	診療放射線技師
秦野赤十字病院	堀内 順一	放射線課長
	原田 浩美	診療放射線技師
大田原赤十字病院	佐藤 統幸	放射線係長
	井戸沼 佳明	診療放射線技師
芳賀赤十字病院	武藤 美子	放射線係長
	飯野 誠	診療放射線技師
足利赤十字病院	茂木 常男	放射線技師長
	石田 敏哉	診療放射線技師

小川赤十字病院	高栖 奈津美	診療放射線技師
	前川 沙織	診療放射線技師
	小川 清	放射線技師長
	小林 教浩	放射線課長
	古川 富男	放射線課長
	福島 良	放射線係長
	宇田 暢樹	放射線係長
	田中 達也	放射線係長
	酒本 禎史	放射線係長
	松本 洋栄	診療放射線技師
	山田 伸司	診療放射線技師
	村田 雅弘	診療放射線技師
	江守 亜矢子	診療放射線技師
	清水 ゆかり	診療放射線技師

プログラム：

【11月27日（土）】

- 13:00 ～ 開会式
- 13:10 ～ 13:40 大会長講演 座長 深谷赤十字病院技師長 清水 文孝
『日本赤十字における診療放射線技師』
講師 小川赤十字病院技師長 小川 清
- 13:40 ～ 14:10 日本赤十字放射線技師会 会長講演 座長 長岡赤十字病院技師長 林 智
『ユビキタス時代の日本赤十字放射線技師会』
講師 日本赤十字放射線技師会会長 益井 謙
- 14:20 ～ 15:50 パネルディスカッション 座長 小川赤十字病院 田中 達也・松本 洋栄
『チーム医療の実践』
パネリスト 『三次救急病院の観点から』 さいたま赤十字病院 塚田 将司
『がん拠点病院の観点から』 深谷赤十字病院 富田 欣治
『高齢者急性期病院の観点から』 小川赤十字病院 江守亜矢子
- 15:50 ～ 16:00 Coffee Break
- 16:00 ～ 17:00 特別講演 座長 小川赤十字病院技師長 小川 清
『チーム医療について』
講師 医療ジャーナリスト 福原 麻希
- 17:10 ～ 17:40 業務連絡会議
- 19:00 ～ 情報交換会

【11月28日（日）】

- 9:10 ～ 9:50 一般演題1 座長 小川赤十字病院 古川 富男
『NICUのポータブル撮影における保育器が及ぼす影響と最適条件の検討』
成田赤十字病院 川俣 剛樹
『フィルムレスに伴うモアレの検討』
小川赤十字病院 清水ゆかり

『全身照射MU算出におけるスプレッドシートの作成と確立』

長岡赤十字病院 西潟 貴幸

『放射線医療機器保守契約の検証の試み』

深谷赤十字病院 飯島 秀信

9:50 ~ 10:00 休憩

10:00 ~ 10:50 一般演題2

座長 小川赤十字病院 小林 教浩

『当院心臓CTの画像評価と育成』

深谷赤十字病院 齋藤 幸夫

『乳癌術前CTの3Dプロトコル』

小川赤十字病院 松本 洋栄

『当院で経験した胸痛を主訴とした緊急CTについて』

小川赤十字病院 田中 達也

『SPACE法を用いたT2WIパラメータの検討』

大田原赤十字病院 井戸沼佳明

『MRIにおける顎関節キネマティック（動体）撮像の検討』

大田原赤十字病院 佐藤 統幸

11:00 ~ 12:00 教育講演

座長 小川赤十字病院 宇田 暢樹

『医療被ばく相談の対応について』

講師 東松山市立市民病院 工藤 安幸

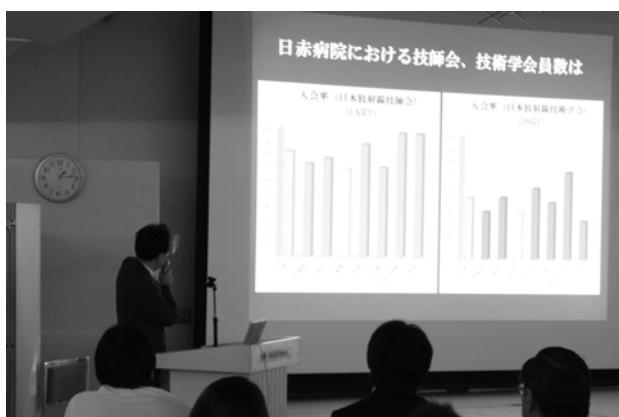
12:00 ~ 閉会式



会場 森林公園ホテルヘリテージリゾート



受付



大会長講演

「日本赤十字における診療放射線技師」



技師会長講演

「ユビキタス時代の日本赤十字放射線技師会」



研修会場



パネルディスカッション「チーム医療の実践」



特別講演「チーム医療について」



大先輩からのアドバイス



業務連絡会議



情報交換会



教育講演「医療被ばく相談への対応について」



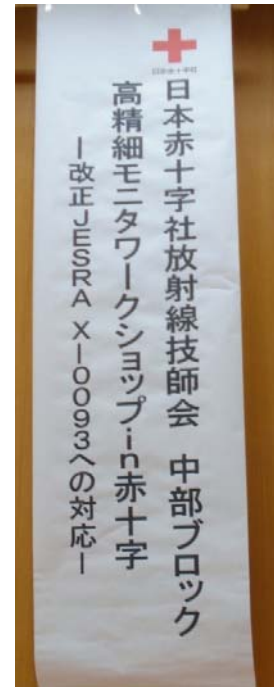
一般研究発表

第一回中部ブロック研修会開催される

名古屋第二赤十字病院 医療技術部放射線科 日置竹志

平成 22 年 8 月 28 日（土）福井赤十字病院にて第一回中部ブロック研修会として「高精細モニタワークショップ in 赤十字」が開催されました。中部ブロックでは過去 2 年、二度の連絡会議を経ての研修会開催でありようやく開催に漕ぎ着けたとの印象であります。

研修会の参加者は 9 施設 29 名。内容は今年 7 月に改正されたモニタ管理のガイドライン（JESRA X-0093）に対応した講演と臨床現場での現状報告、実機を使用したワークショップが開かれモニタ管理の知識と実践が身につく実りあるものでした。



研修会に引き続き三度目の連絡会議も開催されました。過去二度の会議は役付けクラスの代表が集まって話し合われてきましたが今回は研修会参加者全員で開催し技師長クラスから若手まで幅広い年齢層の意見を聞きました。会議では過去の連絡会議で策定された規約の確認と今後の活動方針が話し合われ規約にはブロック理事の任期を 2 年とし研修会を年 1 回開催することが明記されました。また次年度の開催は理事を務める高山赤十字病院が担当することが決定され今後は研修会と同時に連絡会議を開催し次年度開催担当を決定し継続的に研修会を開催していく方針であります。

第18回近畿ブロック研修会報告

神戸赤十字病院 放射線科部 浅妻 厚

平成22年2月27～28日、第18回近畿ブロック研修会が神戸にて開催されました。心配された雨も無事上がり、気持ちも晴れやかに、スタッフ一同開催に望みました。参加者計77名となった本会のメインテーマは、2次救急における放射線技師の役割です。当院放射線科森副部長の基調講演に引き続き、当直中の検査で遭遇した症例というシチュエーションで、あなたなら(自施設なら)何を疑って、次は何の検査を予想して準備するか?というグループディスカッションを行いました。施設をかためず、ランダムに分けたため、それぞれのグループ内でいろいろな意見が出、他施設の状況も垣間見ることができたので、非常に面白い企画となりました。また、会員研究発表は10年未満の会員限定で、12演題の発表がありました。非常に活発な質疑応答(関西ならではの厳しい突っ込み?)も見られ、発表者にとっては大変だったと思いますが、ぜひ今後の糧にしたいと思います。

来年は、舞鶴赤十字病院開催となります。

第18回 日本赤十字放射線技師会 近畿ブロック研修会

開催日：平成22年2月27日(土) 14:00～2月28日(日) 12:00

会場：日本赤十字社 兵庫県支部 7F 研修室

神戸赤十字病院 3F 第二研修室

□ 1日目

14:00～14:10 開会の挨拶

神戸赤十字病院 院長 守殿 貞夫

神戸赤十字病院 放射線科部 技師長 福本 芳人

14:10～15:10 基調講演： 座長：神戸赤十字病院 放射線科部 係長 新井 純一

「画像診断による救急患者トリアージ」

講師：神戸赤十字病院 放射線科副部長 森 岳樹

15:30～17:00 テーマディスカッション：

座長：神戸赤十字病院 放射線科部係長新井 純一

「2次救急における放射線技師の役割」

神戸赤十字病院 放射線科部 中田 正明

15:30～ 施設代表者会議(場所：神戸赤十字病院 3F 第二研修室)

司会：神戸赤十字病院 放射線科部 技師長 福本 芳人

18:30～20:30 連絡協議会&イブニングセミナー

「インドネシア 西スマトラ沖地震 活動報告」

神戸赤十字病院 放射線科部 中田 正明

□ 2日目

8:50～9:00 オリエンテーション

9:00～9:50 学術研究発表①

座長：神戸赤十字病院 放射線科部 岸本 義

幸

① 骨シンチグラフィにおける ^{99m}Tc -MDPと ^{99m}Tc -HMDPの比較検討

京都第二 竹下 翔

② 前立腺IMRT固定具を用いたセットアップに関する検討

大津 小笠原 誠

③ 1 Shot PhantomにおけるCNRの評価

京都第二 楠 理恵

④ X線アナライザを用いた品質管理における基礎的検討

神戸 西 早紀

10:00～10:50 学術研究発表②

座長：神戸赤十字病院 放射線科部 岡田 亘

① CT撮影時の被写体位置が画質に及ぼす影響(高コントラスト分解能及び画質ノイズの物理学的評価)

大阪 吉澤 雄介

② Angio装置におけるCT-like(コーンビームCT)画像撮影(肝領域におけるLow Contrast Imaging)

大阪 岡田 光正

③ Parallel Imaging法における感度分布収集前後のコイル位置ズレによって生じる影響

大津 澤 龍貴

④ Aquilion CXの使用経験について

姫路 天川 善晃

11:00～11:50 学術研究発表③

座長：神戸赤十字病院 放射線科部 辻本 梨香

① 長浜市における乳がん住民検診の現状とその取り組み

長浜 木村 真恵

② 当院MRI検査における説明用DVDの製作及び導入経験について

大阪 米田 卓哉

③ 放射線技術課におけるインシデント事例の統計と分析

和歌山 渡邊 真也

④ 可般媒体による他院画像データのPACS取り込み運用について

神戸 小川 宗久

11:50～ 閉会の挨拶

神戸赤十字病院 放射線科部 課長 浅妻 厚



九州ブロック活動報告

第11回日本赤十字放射線技師会九州ブロック研修会

日本赤十字社長崎原爆病院 放射線科部
森 幹司

開催日時：平成22年9月25日（土）～26日（日）

開催場所：日本赤十字社九州ブロック研修センター『アソシエート』

熊本県阿蘇郡単阿蘇村河陽4369-19

毎年、9月末に行っている九州ブロック研修会を今年も世界一のカルデラで有名な熊本県の阿蘇にある研修センター「アソシエート」で開催しました。

当日は天気も良く、室内にいるのがもったいないぐらいの観光日和でしたが、九州の各病院より総勢38名の参加がありました。

初めに、当番病院の日赤長崎原爆病院の山口技師長とブロック理事の今津赤十字病院の三谷氏から開催の挨拶がありました。

初日の特別講演では「原爆放射線の人体影響（生涯持続性のメカニズムを考える）」と題して、日赤長崎原爆病院院長の朝長先生より長崎に落とされた原爆による貴重な写真やデータを用いた講演を頂きました。

次に「肺がんCTについて」と題して、日赤長崎原爆諫早病院放射線科部長の吉田先生より肺がんCT検診の状況と8年間の結果や取り組みについて講演がありました。

2日目は会員からの研究発表として日赤長崎原爆諫早病院の松本技師、大分赤十字病院の櫛野技師、日赤長崎原爆病院の堀技師の3名から発表がありました。

次に教育講演として「放射線治療装置の最新動向」と題して、エレクトラ㈱の岩井先生より治療装置の歴史から現在の状況や今後の流れについて講演を頂きました。

日頃聞くことができない貴重な講演を頂き、会員からの質問も多く出されました。また、懇親会でも各病院の方々と情報交換ができ有意義な研修会ができたと思います。

受付の風景 研修会場



開催プログラムは以下の通りです。

第1日 9月25日（土）

13:00 受付

13:20 挨拶

当番病院 日本赤十字社長崎原爆病院 山口 敏郎

ブロック理事 今津赤十字病院 三谷 孝二

特別講演

13:30～15:00

原爆放射線の人体影響「生涯持続性のメカニズムを考える」

日本赤十字社長崎原爆病院 院長 朝長 万佐男先生

座長 日本赤十字社長崎原爆諫早病院 小楠 弘幸

15:10～16:40

「諫早日赤病院における肺がんCTについて」

日本赤十字社長崎原爆諫早病院 放射線科部長 吉田 伸太郎先生

座長 日本赤十字社長崎原爆病院 山口 敏郎



朝長 万佐男 先生



吉田 伸太郎 先生

16:50 ブロック代表者会議

18:30 懇親会

第2日 9月26日(日)

会員研究発表

9:00~9:50

座長 日本赤十字社長崎原爆病院 森 幹司

1) 「内臓脂肪面積と肝CT値についての検討」

日本赤十字社長崎原爆諫早病院 松本 祐二

2) 「SPECT/CT一体型による脳血流SPECT減弱補正の比較検討」

大分赤十字病院 櫛野 恭治

3) 「頭部MR画像を用いたコンピュータ支援放射線治療計画について」

日本赤十字社長崎原爆病院 堀 大輔

教育講演

10:00~11:20

「放射線治療装置の最新動向」

エレクトラ株式会社 リサーチフィジックス部 岩井 良夫先生

座長 日本赤十字社長崎原爆病院 宮本 憲一



松本 祐二氏



櫛野 恭治氏



堀 大輔氏



岩井 良夫 先生

11:30 閉会挨拶

次回当番病院

唐津赤十字病院

宮村 定

【参加者】

福岡赤十字病院

古賀 則夫 山口 英雄 工藤 真規子 永尾 卓也

今津赤十字病院

三谷 孝二

嘉麻赤十字病院

嶋田 三賀佐

唐津赤十字病院

宮村 定 平田 一英 服部 重雄 江口 教久 千綿 直也

日本赤十字社熊本健康管理センター 長野 勝廣 富田 亜季

熊本赤十字病院

村上 直治 後藤 啓二 濱田 勝徳 大木 一嘉 岩崎 雄太 竹野 俊一

岡本 好史 黒木 陽平

大分赤十字病院

戸口 豊宏 櫛野 恭治 粕谷 健二 凍田 淳平

鹿児島赤十字病院

米山 信司 青木 佑恭

日本赤十字社長崎原爆病院 山口 敏郎 宮本 憲一 近藤 文宏 森 幹司 前田 夕介 松尾 俊哉

豊幡 亜紀子 堀 大輔

日本赤十字社長崎原爆諫早病院 小楠 弘幸 松本 祐二 壁村 早苗

今回の研修会の開催にあたり各病院の方々から助言や協力をいただき、無事に開催し終了することができたことを大変感謝しています。この研修会のおかげで各病院の横の繋がりがや技師個人の繋がりができていたことを痛感しました。今後ともご指導をよろしくお願いいたします。

スタッフ一同